



伊地知文庫
文庫20
390
1



玉音三十則

玉音

文庫20
390
1

倭讀要領敘



余幼奉先君子之訓。曰。不讀書無以為士。因稍々取孝經論語諸書。口授句讀。已而出就外傳。誦習古文。遂好讀書。初為性理家之言。後稍疑之。求古學之方。博訪旁諮。未之有得也。嘗從一師學華語。退而

倭讀要領序

省舊所誦詩書古文者坐侏離之
習失其義者十八九始知黃備氏
之教欲道人於易反貽之害也弱
冠懷游學之志負笈於千里聞有
嗜學好古者必就謀焉大率所見
不若所聞竟未厭吾意純也八年
於外無所得於學來歸最後獨得

徂來先生以為之歸及聞其論說
也乃純鄉所求者畢有且先生能
華語尤惡侏離之讀亦與純素心
合蓋益知倭讀之難而為害之大
耳自是之後致思於古學有年數
矣雖至愚之性而千慮之一如有
所得時與從游者言人或勸撰次

其語以訓蒙士於是乎錄成編命
曰倭讀要領夫倭語不可以讀中
夏之書審矣余今^令屑々焉為此者
豈謂規矩大方乎哉唯是窮鄉寒
士欲讀書而未知方者覩而有
取焉亦庶乎有補余既以蚤奉先
君子之訓遂好讀書夫世豈不有

與余同好者哉則期此書之不見
棄不亦可乎

享保十三年戊申二月初吉

東都後學信陽太宰純自叙

序終



倭讀要領目錄

上卷

倭讀總說第一

日本無文字說第二

中國文字始行于此方說第三

倭音說第四

倭語說第五

顛倒讀害文義說第六

倭音正誤第七 對譯本濁新濁連聲法附

中卷

倭語正誤第八

倭讀正誤第九

讀書法第十

下卷

點書法第十一

抄書法第十二

發音法第十三

倭讀例第十四

學則第十五

學戒第十六

目錄終

倭讀要領卷之上

伊地知氏書冊

信陽太宰純徳夫撰



倭讀總說第一

倭讀トハ、倭語ニテ書ヲ讀ナリ、倭語ノ讀ハ、何ノ世ヨリ始
 ムルトイフヲヲシテ、菅江ニ家ノ讀法昔ヨリ傳レリ、
 古ハ皇朝ノ人、貴賤トナク皆學術アリシニ、王政衰テヨリ、
 文學ノ道、禪僧傳ハリテ、三百年ヲ歴タリ、是一變ナリ、近世
 慶長年中ヨリ、藤惺窩林羅山ニ先生出テ、儒學ノ道、士大夫ノ
 間ニ倡フ、元和太平ノ後、儒教漸海内ニ行ハレテ、農工商賈モ、
 孝悌忠信ノ道ヲ聞ニ預ル、是誠ニ
 國家明德ノ化シテ、二先生ノ功多カラストイハズ、但ニ先

生宋儒ヲ尊信シ、新註ノ四書五經ヲ用テ、程朱ノ教ヲ弘メ
シニヨリテ、古學遂ニ廢レテ、宋儒ノ說、世ニ盛ニ行ル、
今已ニ百年ナリ、是又一變ニ然ニ薩摩ノ僧文之四書ヲ讀、
羅山先生四書五經ヲ讀テヨリ、後來コレニ劬フ者數十家、
各其本アリテ世ニ行ハル、今其本ヲミレバ、諸家互ニ得失
アリ、大抵其人句讀ヲシラズ、文法ヲ解セズ、字義ヲ曉ラズ、
只倭語ノ意ニテ讀ル故ニ、文義ヲ誤ル、
甚多シ其中ニ山
寄氏ノ本較勝レリ、闇齋先生心ヲ朱氏ノ書、
潛メシニヨリ
テ新註ノ旨ヲ得タル、
頗多シ、然レモ其又亦文章ノ道ニ
昧クシテ、只門戸ヲ立ントノミシケル故ニ、
省クマシキテ
ニヲハヨ省キ、華語ニモ倭語ニモ違テ鄙俚ナル讀ヲナセ

リ、凡中ノ書ヲ讀ムハ、中ノ音ヲ以テ上ヨリ順下ニ讀テ、
其義ヲ得ルヲ善トスレモ吾國ノ人ニシテ、音ノ讀ヲ習フ
ノ容易ナラ子バ、己コトヲエズシテ、倭語ノ讀ヲナスナリ、
然レバ文義ヲダニ失ハズハ、其讀法ハ人人ノ心ニ任ス可
何ゾ必シモ門戸ヲ立テ、一家ノ法ヲ定メニヤ、
只要領ヲ得
テ其規矩ニ循ハシ、類ニ觸テ自然ニ活法ヲ悟ルベシ、
門戸
ヲ立ルトハ流義ヲ立ルナリ、
要領トハ、要ハ腰ト同シ、
衣ノ
コシナリ、
領ハ衣ノエリナリ、
衣ヲ舉ルニ腰ト領トヲ取
全體皆舉ル意ナリ、
去バ學問ノ道モ、
要領ヲ求ルコトヲ務ム
可シ、
既ニ要領ヲ得テ、
日夜尋思スレバ、
靈慧自發シテ卒ニ大體ヲ
得ルナリ

日本無文字說第二

日本ニハ文字ナシ、今ノ國字ノ以呂波ハ、弘法大師造レリト云、傳ス、是ヲ國字ト稱スレド、吾國ノ字ニハアラス、中ノ草字ヲ取テ、其形ヲ壞リテ、別ニ一體ヲ成セル者ナリ、吾國本來文字ナキコトハ、先賢ノ説明白ナリ、齋部廣成力古語拾遺ノ序ニ、蓋聞、上古ノ世、未有文字、貴賤老少、口々相傳、前言往行、存而不忘ト云リ、又大江匡房ノ菅崎宮記ニ、我朝始、書文字、代結繩之政、即創於此朝ト云リ、此朝トハ應神天皇ノ時ヲ指ルナリ、又三善清行ガ昌泰四年ノ勘文ニ、上古之事、皆出口傳故、代々之事、變應遺漏ト書リ、此等皆證トス可、近ゴ口筑前ノ貝原損軒先生モ、此諸說ニ據テ、吾國ニ文

字無キコトヲ確論セリ、損軒ハ吾國ノ記載ニ博覽ナリシ人ナレバ、其說尤信スベシ、巫祝ノ徒、往々吾國ニ文字有シコトヲ云ハ、皆孟浪ノ談ナリ、今彼等ガ家ニ、上古ノ國字トテ傳ルハ、陰陽家ノ符書ノ字ノ如ナル者ニテ、甚杜撰ナリ、學者只先賢ノ定論ヲ信スベシ、妖妄ノ說、惑フベカラズ

中國文字始行于此方說第三

應神天皇即位シ、賜テ十六年、百濟國ヨリ王仁ニイフ博士ヲ召テ、太子ニ書ヲ授テ、奉ラシメラル、王仁來テ、論語千字文ヲ獻ス、是ヨリ中ノ文字、吾國ニ行ハル、然レド、此時王仁何レノ國ノ音ヲ傳ヘ、如何ナル讀法ヲ教タリシト云、コト聞カズ、王仁博士ナレバ、中ノ音通シ讀法ヲ解シタリケニ

モシラ子氏、此方ニ傳ハレル字音中ノ音ニアラザルヲ以テ考レバ、只百濟ノ音、百濟ノ讀法ヲ教タリト見、百濟ノ讀モ、如何ナル法ト云フシラ子氏、才モフニ今ノ朝鮮ノ讀法ノ如クナラニ、朝鮮ニハ吾國ノ如ク顛倒ノ讀アリ、字ニ助聲有テ、此方ノテニクハノ如ク、諺文トテ此方ノ以呂波ノ如ナル者アリテ、是ヲ字ノ側ニ細書シテ、中ノ語ヲ以テ、朝鮮ノ語トナシテ讀ム、字音ノ異ナルノミニテ、吾國ノ讀法ト異ナルヲナシ、夷狄ノ言語、萬國皆如是、王仁カ時、百濟ニモ諺文アリテ、是ヲ吾國ニ傳ナバ、今ノ世ニモ遺ル可ナナルニ、一字モ傳ラザルヲ以テ觀レバ、王仁其時諺文ヲ用ヒズ、只本書ノマクニテ授ケシナラン、或人以呂波ノ中ノ

ヘツノ二字ハ百濟ノ諺文ナル可ト云、リ、サモアラニカ、片假名ト云、者、ハ吉備公造レリトイヒ傳中ノ真字ノ偏傍上下ノ二三畫ヲ割取テ倭語ノ細書スルニ便ナラシメタル者ナリ、後以呂波作テ遂ニ國俗通行ノ文字ナレリ、此二種ハ吾國テ造タル字故同マレヲ國字ト云、實皆中ノ字ヨリ出者也

倭音說第四

倭音トハ、日本傳ハレル字音ナリ、倭音ニ種アリ一ニハ漢音、二ニハ吳音也、此二種ノ音ヲ異國ノ音ナリトテ古ヨリ習傳レト今ヨリ觀レバ皆中ノ音、非ズ其初何レノ國音ヲ受傳ケルト云フヲシラズ、舊說昔對馬國異國ヨリ來テ任ニ厄アリ、其名ヲ法明ト云、對馬ノ人はヲ師トシテ、字音學シガ、

遂^ニ海内ニ弘マリテ、儒佛ノ書ヲ皆此音讀ム、彼^ニ尼吳國人ナ
 リシ故、其傳ヘシ音ヲ吳音云、對馬國ヨリ始マリシ故ニ、又對
 馬音云、其後何人カ漢音云者、學テ、吳邊土ニテ、其音正カラズ、
 漢音、中原ノ正音也、稱セシニヨリテ、桓武天皇、延曆十一年、
 明經^{オカシク}後ニ詔^ス、漢音ヲ習、シメ、十七年ヨリ、始^テ五經ヲ漢音ニ
 讀マシメラシム、是ヨリ定テ、儒書ニハ漢音ヲ用、佛書ニハ吳
 音ヲ用、^フニナリヌト云、今按ズルニ、吳音ヲ邊土ノ音ナリト云ハ、
 周ヨリ以前ノ吳國ヲ指テ云ルナリ、後世、爾^{イフ}イフ不可、其故ハ、
 吳ハ本南方荆蠻ノ國ニテ、周ノ代春秋ノ初マデハ、其君中
 原ノ諸侯ノ會同ニ預ル^フモナク、其民斷髮文身ノ俗ナレ
 バ、其語音正カル不可、然レモ其國本大國ニテ、春秋ノ世、王

壽夢ガ時ヨリ、中原交通シテ、王闔廬ニ至テ、遂ニ霸業ヲ
 成セリ、闔廬ハ壽夢ガ孫ナリ、闔廬ガ子夫差ガ時、國亡テ、其
 地越ニ并セラレ、戰國ノ時ニ及テ、越又楚ニ并セラレ、秦漢
 以後ハ、其地ヲ吳郡ト名ケテ、南方ノ一都會ナリ、三國ノ時、
 孫氏此ニ據ル、山海ノ利ヲ兼テ、四方輻輳スル所ナル故ニ、
 六朝以來、吳郡ノ繁華、天下無雙ニテ、人物風流、此地ニ過ル
 ヲナシ、此時ニ至テハ、古ノ荆蠻ノ風俗易リ盡テ、彬々々ル
 君子ノ郷トナレリ、俗既ニ文雅ナレバ、語音モ隨テ正キ^ク、
 何レノ國モ同然ナリ、明ノ代ノ南京ハ、古ノ吳國ノ地ナリ、
 南京ノ音ハ天下ノ正音ニテ、中ノ人モ是ヲ則トス、是明
 朝ニ、其地ヲ陞セテ南京トシテ、帝都ニ准ジ、百官ヲ備テ、是

守リシヨリ學士大夫、搢紳先生ノ聚マル所トナリシ故也、然レモ明ノ代ニ至テ、其土音頗ニ改リテ、カク正クナリシ夕ルニハ非ズ、秦漢以來漸ク以テ致ス所ニノ實ハ南方ノ風氣ノ然ラシムル所也、吾國ノ人ノ吳音ヲ受シテ、何レノ世ト云フヲシラ子也、オモフニ其事應神ヨリ後ニ在ルベケレバ、六朝ノ間、若ハ唐ノ初ニ當ルベシ、是其時ノ吳音既ニ古ノ吳音ニ非サルベシ、何ゾコレヲ賤メテ、邊土ノ音トスルヲヲ得ヤ、是真ニ疑ハシ、漢音ト云ハ漢ノ代ノ京都ノ音也、漢ハ長安、後漢ハ洛陽也、長安ヲ西京西都ト稱シ、洛陽ヲ東京東都ト稱ス、此兩都ノ音ハ漢音ト名ケテ、中原ノ正音トス、吾國ヨリ使ヲ遣シテ中ニ入貢セシテハ、六朝ニモ是有、雖

唐ノ代ニ當リテ、殊ニ類類ナリシ故ニ、其使ヲ遣唐使ト云、中ニ往クヲ入唐ト云、去ハ吾國ノ禮樂文物、唐ノ制ニ倣ヘル事多ク、諸道ノ藝術モ、唐ヨリ傳來レルヲ多シ、然ルニ唐ノ都モ長安ナレバ、吾國ヨリ往シ人、皆長安ノ音ヲ學テ歸テ、漢音ト稱ス、此方ニ弘メシ故ニ、桓武天皇ノ時ニ至テ、遂ニ世ニ行ハレシナリ、凡吳漢二音ノ此方ニ傳レルヲ、其說詳ナラザレバ、事理ヲ以テ考レバ、如是ナルヘシトミユル也、然レバ吳音モ漢音モ、本皆中ノ音ナレバ、縱展轉シテ訛然^{アキリカラ}ストモ、今ノ如クノ音ニハ非ザル可ニ、今中ノ南京ノ正音ヲ以テコレヲ律スレバ、分毫モ似タル處ナキハ、何ソヤ當初何レノ國ノ音ヲ、何人ヨリ受テ、是ヲ中ノ音ゾト思ヒテ

習ヒ傳ヘケルヤラシ、怪キフナリ、中ノ音ハ、諸ノ韻書ニア
ラハセル如ク、四聲七音、清濁開合、種々ノ呼法、韻韻各別ニ
メ、甚精微ナリ此方ニハ四聲分レズ、七音明ナラズ、清濁開
合ノ呼法、正カラズ、衆音混同メ、更ニ辨別ナシ是倭語ヲ用
テ其義ヲ辨メ、字音ヲ用ヒザル故也、然レモ千餘年ヲ歷テ、
カク習來レル音ナレバ、今是ヲ改テ、中ノ正音ニ復ス可
様モ無レバ姑、古來ノ習ノ如ク、兩様ノ音ヲ學テ字ヲ識リ
書ヲ讀ム可也、但此音ヲ中ノ音トオモフベカラズ、其始
ハ中ノ人ヨリ傳授シテ真ノ吳音、真ノ漢音ナル可レモ、
今如是訛舛メハ、全ク吾國ノ音トナリテ、中ノ音ニ非ル
故ニ姑、コレヲ倭音ト云也、若真ノ音ヲ知ントオモハド

其師ニ就テ問フベシ、筆札ニ見ハシ難シ

倭語說第五

倭語トハ日本ノ人ノ言語ナリ、倭語ニ五種アリ、一ニハ天
地自然ノ倭語、生民以來、應神天皇ノ世マデ文字ナカリシ
時人吾國ノ人ノ言語也、是真ノ倭語也、今何レノ言カ、其遺
ソト云フ不知三ニハ異國ト往來ヲ通ノヨリ後ノ倭語、吾
國ニアラユル事物、多クハ異國ヨリ傳來レル者ナレバ、是
事是物アリテ後ニ、各其名ヲツケタルナリ三ニハ文字ア
リテヨリ後ノ倭語、中国ノ文字行ハル時ニ及テ、文字ヲ讀
ニツキテ、此方ニナキ事物ナレモ、他ノ事物准シテ、倭訓ヲ
施ル也、羊ヲヒツジト訓シ、豹ヲナカソカミト訓シ、象ヲキ

サト訓シ、棠棣ヲカラナシト訓スル類也四ニハ 音ヨリ
來レル倭語、中ヲ又ノ言語ヲソノマクニ受用セタル也、火
ホト訓シ馬ヲムマト訓シ、君ヲキミト訓シ、蟬ヲセミト訓シ、
梅ヲムメト訓スル類本皆 音也、火ヲヒト云ハ、ホヨリ轉
シタル也、五ニハ三韓ノ語ヨリ來レル倭語、上世ハ三韓ト
類々、往來ヲ通ゼシ故ニ、三韓ノ人ノ言語ヲソノマクニ倭
語トナシタル也、虎ヲトラト訓スルハ、高麗ノ語也ト、或人
云リ、此類猶多カレベシ、此五種ノ外ニ、又古語今語雅語俗
語アリ、又國字草子ノ語、經史詩文用ル倭語ト、不同者アリ、
己上種々ノ倭語、一一ニ其源委ヲ考、難シ、今吾黨ノ學者
ハ、中ノ文字ニ通シ、中ノ言語ニ達シテ、經術ヲ明ラメ

文章ヲ作ント志ス上ハ強ニ倭語ヲ講究スルヲ難不用、
此國ノ人ニテ、此國ノ言語ニ昧カラシモ、學者ノ耻可ク也、況
今ノ人ハ、字ヲ識ルヲ以呂波ヨリ始マリ書ヲ讀ムヲ倭語
ヨリ入 老ルモ、亦學問ノ一助也、只習俗ニ牽
典則ヲ 巴斯、鄙倍遠サカラシオモフ可也、一説ニ倭語、
王仁ヨリ始レリト云、尤信シ難シ、王仁初テ吾國ニ來テ、中
ノ書ヲ授シ時、早ク倭語ニ通メ、中ノ文字ヲ一一ニ翻
譯メ、倭語トナサシテ、容易ナル不可、然レモ難波津ノ歌ヲ
觀レバ、此方ニ久ク住テ後ニハ倭語ニ能ク通セリト見、然
レバ王仁ガ書ヲ授セハ、只彼國ノ讀法ヲ授タルノミニテ、今
ノ如クノ倭語ノ讀ハ後人ノシワザナルベシ

顛倒讀書文義說第六

顛倒トハ、サカサマナルヲ云、日本ノ人ノ言語ハ、皆サカサマナ
 リ、中ノ人ハ、治國平天下ト云テ、日本ノ人ハ、國ヲ治ム、天
 下ヲ平ニスト云、中ノ人ハ、無所不至ト云テ、日本人ハ、至
 ラサル所ナシト云、類也、中ノ人ノ先ニ云テ、後ニ云、中
 ノ人後ニイフテ、先ニ云、凡古語皆如、是上下顛倒ス、此
 顛倒ハ、我が日本ノ人ニ非ス、中外ハ、東夷西戎南蠻北
 狄、言語各殊カレド、顛倒トナシ、今吾國ノ人、中ノ書
 ヲ以テ、此方ノ語トナシテ、顛倒シテ讀ム故ニ、文義ヲ害ス
 ルト多シ、此ト上古ニハコレ有、不可、中古ヨリ以來ナル可、
 其故ハ、王仁始テ吾國ノ人ニ書ヲ授シ、時ハ、倭語ノ數モ少ク、

王仁異國ノ人ニテ、此方ノ言語ニ通スルトモ難カルヘケ
 レバ、只異國ノ音ニテ、異國ノ讀ヲ教ルニ過ベカラズ、其後
 中ノ書多ク傳ハリ、文字ノ教弘マリテ、物ノ名モ定マリ
 言語ノ數モ多クナリテ、中ノ文字民間マテニ行ル、是ニヨリ
 テ、學士大夫、書ヲ讀ム者中ノ字ヲ翻シテ、倭語トナシテコ
 レヲヨム、倭語ヲ以テ中ノ書ヲ讀ムニ、其文ヲ顛倒セザ
 レバ、其義通ゼサル故ニ、遂ニ顛倒ノ讀トナレリ、是何レノ
 時何人ノ創ルト云テ、詳ニセズ、世ニ傳テ、吉備公ヨリ始
 レリト云、吉備公片假名ヲ造レルニ、倭語ヲ書スルニ便ナ
 ラシメ、ニ為ナレバ、倭語ノ讀ヲ創ケルト云テ、誠ニサモア
 ルヘシ、既ニ倭語ヲ以テ中ノ書ヲ讀メ、ハ異國ノヲヲ視

ル、吾國ノ「ヲ」ヲ視ル如クニテ、此方ノ人ニ甚便ナル故、海
 内ノ人、專ラ是ヲ學テ、古ノ讀法ヲ尋求ル者モ無レバ、吉備公
 ノ前ニハ、如何ナル讀法也シト云フダニ傳ハラズ中ノ
 文字徒倚言ノ用トナリテ、文章ノ道是ヨリ差ヘ
 リ、吉備公ノ功ハ、其罪ヲ掩ヒ難カラズ、今ノ學者、幼ヨリ顛
 倒ノ讀ヲ習テ、語ヲ解セザル故ニ、只カクノ如ク讀テ、其
 義通ズトオモヒテ、倭讀ノ甚義理ヲ害スル「ヲ」シラズ、凡
 言語ノ道中ト吾國ト大ニ異也中ノ書ハ中ノ人ノ
 言語ナルヲ、日本ノ人ノ言語ニテコレヲ讀メバ日本ノ人
 ノ言語ニ異ナル「ヲ」ナシ、語ハ上ニ在リ下ニ在ルヲ以テ、
 一字ナレバ其義ヲ異ニス、不敢ト云、敢不トイフガ如キ、敢

字或ハ不字ノ下ニ在リ、或ハ不字ノ上ニ在リ、不敢ト敢不
 トハ、其義正ニ相反ス、然ルヲ倭讀ニハ、アヘテト云フヲ必
 先ニ云故ニ、不敢ト敢不ト相乱ル「ヲ」アリ、不必必不ト亦然
 ナリ、又上ニ在ル一字一句、下ノ數字數句ニ被ラシムル處
 アリ、是ヲ顛倒ニ讀メバ、必其義ヲ失フ也、又決シテ顛倒ニ
 讀ガタキ處アリ、又中ニハ言語ノ數多久、日本ニハ言語
 ノ數甚少シ、少キヲ以テ多キニ當ル故ニ、字義明ナラズ、喻
 バ中ノ人ハ、目ニテ見「ヲ」云ニ、視トイヒ、觀トイヒ、覺ト
 イヒ、察トイヒ、監トイヒ、瞻トイヒ、矚トイヒ、瞰トイヒ、相ト
 イヒ、見トイヒ、覩トイフ、如是諸般ノ言アリテ、其事各殊ナ
 ルヲ、吾國ノ人ハ、ミルト云一「ノ」言ニテ止ヌ、耳ニテキク「ヲ」

云ニ聽トイヒ、聆トイヒ、聞トイフヲ、吾国、人ハキクト云一
ノ言ニテ止、千言萬語皆如是物ノ名モ、シクシク爵觴、シシ觶、イサ危杯、ハ盞、ハ皆
酒器ニテ、其制各殊ナルヲ、吾国ニハサカヅキト云一ノ名
ヲ通用メ、其物ノ問カラサルヲ、不知、萬事皆此類也、又倭
讀ニハ助語辭ヲ捨テ讀マサル故ニ、アラズル助字皆無用
ハ字ト也、テ、自然ニ、語ノ意味ヲ失フ也、今ノ世ノ儒者多
ク書ヲ讀ミ、能ク經術ヲ談シテ、頗發明スル所アレド、古人
ノ語ニ於テ、靴ヲ隔テ、カカ痒ヲ搔カ、カ如ナルハ、倭語ノ習顛倒ノ弊、ツエ
俱ニ痼疾トナリテ、其靈智ヲ昧マス故也、口ニ談スルスラ
猶然ナリ、况ヤ文章ヲ作ルニ至テ、倭語ノ習除カサレバ、必字
義ヲ誤リ、顛倒ノ弊去ラサレバ、必文理ニ違フ也、著述多ト

雖、用ヲ濟サズ、勞シテ功ナシ、是日本ノ學者ノ大患也、然
レバ、吉備公ノ國字ヲ造リ、倭語顛倒ノ讀ヲ創ルハ、後ノ學
者ニ甘キ毒ヲ啗シメタルニ非ヤ、此毒人ノ骨髓ニ淪テ、除
キ難シ、若是、除ントオモハド、語ヲ習フニシクハナシ、語ハ
中ノ俗語也、今ノ唐話也、去バ文學ニ志アラシ者、必唐話ヲ
學ブベキナリ

倭音正誤第七

凡字音ハ、人ノ語音也、人生テ言フ言ヘバ、聲也、聲成、文謂之、
音音アリテ、後ニ字アリ、字ハ言語ノ象ニ見タル者也、人ノ
語音ニ四聲アリ、七音アリ、輕重清濁アリ、開合アリ、韻アリ、
四聲トハ、平上去入也、人ノ語音ニ四聲アルハ、天ヲ四時ア

ルガ如シ、是自然ノフシ也、然レモ夷狄ニハ四聲備ラズ、唯
 中ノ人耳、四聲全クアリ、七音トハ唇、舌、牙齒、喉、舌齒、齒、舌
 也、人ノ聲、此七處ヨリ出テ、七様ノ音トナル、是スナリ、分、徵、角、
 商、宮、半徵、半商也、此七音ハ、音ノ色也、七音ニ各清濁アリ、清
 濁又分レテ、四トナル、一、清音、二、次清音、三、濁音、四、
 清濁音也、唇音也、輕重アリ、舌音ニ舌頭、舌上ノ二音アリ、齒
 音ニ齒頭、細齒頭、正齒、細正齒、四音アリ、開合ハ呼法也、細ニ
 分レバ、開口、合口、閉口、撮口、齊齒、捲舌、混呼ノ七様ノ呼法ア
 リ、韻ト云ハ音ノナリヲ云リナリトハ形也、諸ヲ韻書ニ載
 タルハ、平聲ニ上下ヲ分ケテ、上平ハ一東ヨリ、二十八山ニ
 至、下平ハ一先ヨリ、二十九凡ニ至リ、上聲ハ一董ヨリ、五十

五范ニ至リ、去聲ハ一送ヨリ、六十梵ニ至リ、入聲ハ一屋ヨ
 リ、三十四迄ニ至ル、四聲通計シテ二百六韻也、是梁ノ沈約
 ガ定メシ韻法也、此二百六韻ニ各七音アリ、清濁輕重アリ
 テ、千聲萬音トナル、華音ニハ箇様ノ辨別アリテ、甚精微也、
 倭音ニハ四聲七音清濁開合ノ名ノミアリテ、其實ナシ、字
 音訛舛メ、中華ノ正音ニ非ルガ故也、僧家ニハ倭音ニ四聲
 シ分ツクアリ、無用ノ爲ナリ、其故ハ、平聲ノ支脂之微魚虞
 模歌戈麻凡十韻、上聲ノ紙旨止尾語麌姥哿果馬凡十韻、去
 聲ノ寘至志未御遇暮箇過禡凡十韻、三聲共ニ三十韻ハ、倭
 音ニ響ナクメ、華音ノ入聲ノ如シ、是ヲ平上去ノ三聲ニハ、
 如何ニシテ呼得ヘキヤ、入聲ハ倭音ニ却テフツクキキノ

響アリテ、入聲ノ體ヲ失ヘリ是皆侏僂不正ノ音也、何レノ
四聲ヲカ分タシヤ、釋氏教相ヲ説ク者ノ家ニ四聲ヲ點スル
法アリ、其法漢音ハ常ノ如シ、吳音ハ平聲ノ字ヲバ點シテ
上聲去聲トナシ、上去ニ聲ノ字ヲバ點シテ平聲トナス、是
尤謂ナキトナリ、吳音モ漢音モ、本皆中ノ音ナレド、展轉
訛舛メ、今倭音トナリタルノミニテ、四聲ハ故ノ四聲ナリ、
何ノ吳音ニ於テ、平反處ヲ易ルコトアラシヤ、奇怪ノ至ナリ、
然レバ倭音ニハ四聲ナレト知ルベシ、凡今ノ學者ハ皆倭
讀ヲ習フ者ナレバ、務テ倭音ヲ牢記スベシ、先漢音ヲ學ビ、
次ニ吳音ヲ學テ、皆習熟スベシ、儒書ニハ漢音ヲ用ヒ、佛書
ニハ吳音ヲ用ヒ、其餘ノ書ハ、吳漢兼用テヨムコト、古來ノ相

傳ナレバ、是ニ從フ可ク勿論也、然レモ二音俱ニ中ノ正
音ニ非バ混用ストモ何ノ不可ナルコトアラシ、必是ニ拘
泥スベカラズ、況ヤ俗間ニハ、二音並行ハルレバ、書ヲ讀者
法ニ拘ハリテ、人ノ聽ヲ駭スベカラズ、必字音ヲ正サントモ、
人ノ聽ヲ駭スハ、風雅ノ道ニ非ス、既ニ是倭音也、正ストモ
竟ニ何ノ益カアラシ、只耳ニカ、ラズ、聽ニクカラザル様、
書ヲバ讀ベキ也、若必字音ヲ正サントオモハ、韻學ヲ講ス
ベシ、韻學ハ、音ニ非レバ明ナラズ、今ノ人、音ヲシラス
トテ、字音ヲ議スルハ、癡人ノ夢ヲ説カ如シ、音トハ、俗ニ
云唐音也、志アラシ者、餘カニコレヲ學ブベシ、大抵倭音ハ、
古ヨリ相承テ、吳音漢音各其例アリ、平聲ノ一東ヨリ、入聲

ノ三十四之ニ至マテ一韻ノ内ニテ例ヲ照メ相推セバ條
理自見ユル也。間ニハ例ニ違ヘル音アレバ、古來讀習ハセ
ル音ヲバ、改メザルヲ故實トハ、清濁開合ニ至テハ、正ヲ失
ヘルヲ尤多シ。悉改ムヘカラス、其中ニ字義ニ關ルヲアル
ヲバ、衆ニ違フトモ、必コレヲ改ムヌ。若俗儒ノ誤レル音、
コレヲ正シテ又ヲ駭スニ至ラザルホドハ、改正セシテ可也。
今倭音ノ誤リ讀テ、義ニ害アル者若干ヲ舉テ初學示ス
左ノ如シ

上平
彤 廣韻ニ以戎切音融、倭音イウ尚書ニ高宗彤日ノ篇ア
リ註ニ音容トアルヲミテ、倭音ヨリトヨムハ非也。

音ハ東冬ノ二韻相通、融容同音也、倭音ハ二韻各別
ニメ、融ト容ト音異ナリ、東韻ニハヨウノ音ナシ
人ノ姓ナリ、戰國ノ時齊ニ馮驩アリ、漢ノ代ニ馮唐ア
リ、又諸馮ハ地名ナリ、孟子ニ見タリ、字本東韻ニ入ル
廣韻ニ房戎切、颯颯ト同音、倭音フウ、若ハ、ホウナル可
ク、古來フト讀習ハセルハ、誤也、然レモ今改難シ、ヒヨ
ウト讀ムハ尤非也、姓ト地名トノ外ハ皆音憑、蒸韻ニ
入ル、倭音ヒヨウ、漢音ハ清シ、吳音ハ濁ル、倭語ニヨル
ト訓ジタノムト訓ズルハ、憑字ト同ジ、論語ノ暴虎馮
河、毛詩ノ削屨馮馮、左傳ノ震電馮怒、漢ノ左馮翊皆音
憑也、馮夷馮是ト同、馮夷ハ水神ノ名ナリ、馮ハ姓ニ非

ス、文選ノ註ニ音憑トアリフト讀ヘカラス

充 廣韻ニ昌終切、倭音シウ、清テ讀ヘキヲ古來濁テ讀習

ハセルハ誤也、然レ凡今改カタシ

聾 廣韻ニ盧紅切、籠隴攏ト同音、東韻ニ入ル、倭音ロウ、龍

字ノ音ニ讀ハ非也、龍ハ冬韻ニ入ル、漢音リョウ、吳音

リウ、倭音ハ東韻ニリョウノ音ナシ

茂 音蓬、又音馮、俱ニ東韻ニ入ル、音ニハ輕重ノ異アリ、

倭音皆ホウ、輕重ナシ、毛詩茂々其麥、ハント讀ヘカラス

右東韻

松 倭音シヨウ、松江ヲ俗儒ズニガウト讀ムハ非也、ズン

ハ音ノ訛ナリ、倭讀ハ只倭音ヲ用テヨム、是故實也

松江ノ松ニ限テ音ヲ用ル、何ノ故ゾヤ、禪家ニ松

坡ト云者アリ、今ズニバトヨム、凡倭讀ニ音ヲ雜ハ

皆禪家ノ僧ノ讀習ハセル也、儒者はニ効フヘカラス

邕 廣韻ニ於容切、音雍、字冬韻ニ入ル、漢音ヨウ、吳音イウ、

後漢蔡伯喈ガ名、俗儒イウトヨムハ、吳音ナリ、字邑ニ從

ヘル故ニ、音邑ナリ、オモヘルハ誤也、邑ハ入聲、倭音イフナリ

濃 廣韻ニ女容切、醲穠ト同音、倭音ゲョウ、字冬韻ニ入ル、

東韻ニ入タル故ニ、今ノ詩ヲ作ル者、東韻ニ此字ヲ押ハ

非ナリ、古詩ハ鄰韻ヲ通押ス、近體ニハ、鄰韻ヲ通押

ヲ許サズ

慵 廣韻ニ蜀庸切、倭音シヨウ、鑰韞ノ二字、是ト同音ナリ

廣韻鱗字ノ註ニ、又音庸トアリ、今ノ人庸ノ音ノミヲ知テ、本音蜀庸切ナルヲ知ラズ

右冬韻

龍 廣韻ニ呂江切、字江韻ニ入ル、倭音ラウ、龍字ノ音ニヨムハ非ナリ、廣韻ニ又音雙トアリ

逢 廣韻ニ薄江切、倭音ハウ、姓ナリ、孟子ニ逢蒙アリ、左傳ニ逢丑父アリ、又關龍逢ハ、夏ノ桀ガ時ノ忠臣ノ名也、此字逢迎ノ逢ト相似テ、字體音義皆異也、逢迎逢ハ冬韻ニ入ル、此字ハ江韻ニ入ル混同スベカラズ

右江韻

羲 廣韻ニ許羈ノ切、倭音キ、清テ讀メシ、尚書ノ羲和、晋ノ

王羲之、唐ノ儲光羲、皆此字ナリ、字體仁義ノ義ニ似タル故ニ、俗儒濁音ニ讀ムハ非ナリ、學者字體ヲ審ニスルニ、義字ハ牙音ノ去聲、此字ハ喉音ノ平聲ナリ、音大ニ異ナリ、倭音ハ平仄ヲ別タズ、二音相似テ清濁アル耳、也、犧犧ノ二字、皆此字ニ從ヘテ、是ト同音ナリ、並ニ清テ讀メシ

麗

高麗ノ麗、魚麗ノ麗、皆支韻ニ入ル、廣韻ニ呂支切、離驪ト同音、倭音リ、高麗ヲ倭音ライト讀ムハ誤ナリ

衰

盛衰ノ衰ハ所追切、等衰ノ衰ハ楚危切、並ニ支韻ニ在テ、音別ナリ、倭音ハ皆ス、異ナルヲナシ、晋ノ趙衰ハ、等衰ノ衰ナリ、俗儒左傳ノ註ニ初危、反トアルヲ見テ、

倭音シト讀ムハ誤也、危字合口呼ノ字ニテ 音グイナ
ル故、初危反スイナリ、穰字モ、廣韻ニハ盛衰、衰ト同音
也、孟子ニ穰題數尺、朱注ニ穰ハ楚危反トアリ、俗儒倭
音シト讀ムハ誤也

綾

音麤、廣韻ニ儒佳、切倭音ズイ、濁テ讀ベシ、俗儒清テ讀
ムハ、字體綾ニ似タル故ニ、誤テ混同セルナリ、綾ハ息
遺、切倭音スイ清テ讀ム、綾字ヲ綾ニ作レル處、古書ニ
モアルハ、字形相似タル故ニ誤レルナリ

右支韻

車 此字本、麻韻ニ入ル、廣韻ニ尺遮切、倭音シヤ、又魚韻ニ
入ル九魚切、音居、倭音キヨ、二音其異ナルヲナシ古ノ

歌詩韻ニ、居ノ音ヲ用タル處多シ、子車氏ノ車ヲ左傳
ノ註疏ニハ居ノ音ニ讀メリ、毛詩ノ註疏ニハ音註ナ
シ、字彙ニハ本音ノ下ニ出セリ、又字彙ニハ居ノ音ノ
下ニ、戎車、革車ヲ出セリ、何ニ據レルト云フヲシラズ、
字彙ニ又曰、古惟遮韻自漢以來始有居音ト然レバ歌
詩韻ニ、居ノ音ニテ押シタル處ヲ除テ、其餘ハ皆本音ニ
讀メキ也、今人論語、大車ヲ居、音ニ讀フ非ナリ

右魚韻

娛 虞愚ト同音、倭音ク、今人ゴト讀ムハ、字體ヲ見テ誤ナリ
芻 廣韻ニ測隅切、倭音スウ、孟子ニ芻蕘者往焉、俗儒朱註ニ
芻音初トアルヲ見テ、倭音シヨト讀ムハ非也、初字魚韻ニ

入心、音魚虞、二韻相通、倭音、虞韻、シヨノ音ナシ

巫 音無、漢音ハブ、濁テ讀ム、俗儒清テ讀ムハ非ナリ、吳音

ハムナリ、誣、字モ是ト同ジ

須 廣韻ニ相兪、切、倭音シユ、又スウト讀ム、俱ニ古來ノ讀

也、佛家ニスウノ音ヲ用ヒズ

需 周易ニ需卦アリ、音須、廣韻ニ相兪、切、倭音シユ、清テ讀

メキテ、古來濁テ讀習ハセリ、儒濡禰嚳、五字ハ並ニ

人朱、切、倭音シユ、濁テヨム

兪 倭音ユトヨムハ、本音ナリ、平上去ノ三聲ニ通ズ、又輸

ノ音アリ、倭音シユ、漢ノ樂布ガ封セラレシ因ノ名也、

又人身ノ兪穴ノ兪ハ、輸ト同ジ、音輸ノ去聲、或ハ輸ニ

作ル、史記ノ扁鵲ガ傳ニ、因、五藏、之輸トアルヲ、索隱ニ

束注、反ト註セリ、輸字ニ平去ノ二聲アリ、此時ハ去聲

也、然レ世ノ醫書ヲ讀ム者、兪字ヲバ只本音ノ如ク讀ム

シユト讀マズ、輸ノ音ナルヲヲシラサルナリ

輸 廣韻ニ式朱、切、倭音シユ、孟子ノ公輸子ヲ、俗儒ユト讀ム

者アリ、字體ニ因テ誤レルナリ、佛書ニ耶輸多羅女ア

リ、釋氏ノ徒、シユト讀ム

徒 倭音ト、讀ムハ道ナリ、明法家ノ故實ニ、律ノ笞杖徒

流死ノ徒ヲ、ツト讀ムハ、音ノ遺レル也

烏 廣韻ニ哀都、切、倭音ヲナルメキテ、古來ウト讀習ハセ

ルハ、音ノ誤レルナリ、今必シモ改メズ、烏獲烏江、烏

俗 ヲ 讀、ナキヲナリ

都 倭音ト、讀ムハ常也ツト讀フアルハ、音ノ遺レルニ

右虞韻

淮 廣韻ニ戸承切、懷槐ト同音、倭音クワイナルヲキテ、古來
ワイト讀習ハセルハ、華音ノ遺レルナリ、吳音、エナリ

右佳韻

煨 廣韻ニ鳥恢切、音隈、倭音ワイ、醫家、ワイト讀、音ニ

嵬 廣韻ニ五灰切、倭音グワイ、濁テ讀ムニ、俗儒清讀ハ非ニ

推 推較推、敲ノ推、手ニテ擠ス類ハ、灰韻ニ入ル、廣韻ニ他

回切、倭音タイナリ、スイト讀ムカラズ、法華經ノ推落
大火坑ヲ、釋氏ノ徒、スイト讀ムハ誤也

右灰韻

諄 廣韻ニ草倫切、倭音シユニ、清テ讀ムニ、俗儒濁テ讀ムハ

非ナリ
ト同音濁テヨム、字體

故ニ誤テ、音ヲ混同ス

遵 廣韻ニ將倫切、倭音シユニ、清テヨムヲ、濁テ讀ムハ非ニ

右真韻

軍 音君、廣韻ニ舉云切、倭音クニ、清テ讀ムキテ、古來濁テ

讀習ハセルハ、君字ノ音ヲ避ケタルナルヲ、今改難ニ

右文韻

灘 廣韻ニ他干切、音嘆、平聲、倭音タニ、清テ讀ムキテ、人

多ク濁テ讀ムハ、難字ト混同セルナリ、攤字是ト同音ニ

號 廣韻ニ一九切音刻倭音ワニ字寒韻ニ入ル號豆ハ豆ノ名ナリ俗エントウト呼ズエンノ音訛レリ

右寒韻

下平

咽 廣韻ニ烏前切音煙倭音エニ先韻ニ入ル人ノ咽也今醫書シヨム者イニト讀ハ字體ニ因テ誤レルニ

鞭 廣韻ニ卑連切 清テ讀メシ和漢朗詠集ニ刑鞭浦腐螢空去ト云テ昔ヨリ清テ讀ム是ナリ今人濁テ讀ハ非也

員 廣韻ニ王權切音圓倭音エン先韻ニ入ル物教官數ナリ又幅員ナリ又方圓ノ圓ト通ズ又音云文韻ニ入ル

語助ナリ又音運問韻ニ入ル伍子胥ガ名ナリ此二音ハ俱ニ倭音ウニナリ官員ノ員ヲ俗儒イニト讀ハ非也三音ノ外ニ別ニイニノ音ナシ官員ノ員先韻ニ入テ圓ノ音ナレバ倭音エニト讀メナリ官名ニ員外郎アリ

右先韻

澆 廣韻ニ堅亮切音梟倭音キヤウ清テ讀メシ俗儒濁テ讀ハ字體ニ因テ誤レルナリ

僥 僥幸ハ僥傲ト通ズ音澆清テヨムメシ僥僥ハ音堯廣韻ニ五聊切僥僥ハ固名家語ニ見エタリ

營 聊遼寥寮ト同音倭音リヤウ毛詩ニ取血營倍儒勞ノ音ニ讀ハ形ナ似タルニ因テ誤レルナリ蕭韻ニラフ

ノ音ナシ

軺 廣韻ニ遙詔ニ音アリ倭音ヤウジヤウ字彙ニハ詔音ヲ載セズ文選ノ註ニモ遙ノ音ヲ書セリ

右蕭韻

稍 廣韻ニ所交切隋管蛸ト同音倭音サウ有韻ニ入ル俗儒シヤウト讀ハ吳音ナリ

鈔 廣韻ニ楚交切音譙漢音吳音シヤウ古來吳音ヲ用フニ抄字是ト同ジ俗字ナリ

右肴韻

嘲 廣韻ニ陟交切音啁倭音タウ俗儒チヤウトヨムハ吳音ナリ揚雄ガ文ニ解嘲アリ

醪 廣韻ニ魯刀切勞牢ト同音倭音ラウ俗儒リヤウト讀ハ字體ニ因テ誤レルナリ

右豪韻

娑 廣韻ニ素何切倭音サ字歌韻ニ入ル釋氏ノ徒シヤト讀ハ字體ニ因テ誤レルナリ歌韻ニシヤノ音ナシ俗儒釋氏ニ劬フハ更ニ非ニ娑字是ト同音ナリ

莎 廣韻ニ蘇禾切葦梭ト同音上ノ娑字ト音相似テ同カラス娑ハ開口呼莎ハ合口呼ナリ華音別ナリ倭音ハ娑ト同シ俗儒シヤト讀ムハ誤ナリ

右歌韻

嗟 廣韻ニ子邪切音置倭音シヤナルメキヲ古來サト讀

習ハセリ、今改ガタシ

鼃 蛙ト同、廣韻ニ烏瓜切、倭音ヲナル、ハキヲ古來アト

讀習ハセリ、今改ガタシ、蛇鼃ハ人名、孟子ニ見エタリ、

注窪哇、汗尊ノ汗是ト同音ニ汗尊、禮記禮運見エタリ

右麻韻

坊 此字廣韻ニ房方ノ二音アリ、清テヨク、濁テヨム皆可

ナリ、倭音ハウハウナリ

裏 廣韻ニ息良切、廂湘相箱箱ト同音、漢音シヤウ、吳音

サウ、俱ニ清テ讀、ハキヲ、古來濁テ讀習ハセリ、ハ誤ニ

然レ、凡今改難ニ、纒纒、環環ノ五字、是ト同音ナリ

嘗 廣韻ニ市羊切、音常、倭音シヤウ、濁テヨムハキヲ、常

ニ清テ讀、害ナシ、然レ、凡、初、禘、嘗、烝、ノ嘗ハ、必濁テ讀、ハ

シ、倭音烝、字ト相乱ル故也、我朝ノ禮ニ、大嘗會、新嘗會

アリ、嘗、字皆濁テ讀習ハセリ、裳、繒ノ二字、是同音ニ

右陽韻

榮 水ノ名ニ、廣韻ニ戸局切、榮、螢ト同音、倭音ケイ、今人、

イトヨム者アリ、非ナルニ似タリ、然レ、凡、字彙ニ于平

切音榮トアレバ、誤ニモアラズト見ユ、螢、榮ノ二字ト榮

字ト、華音ハ同シ、倭音ハ別ナリ

右青韻

蒸 廣韻ニ煮仍切、倭音シヨウ、清テ讀、ハ俗儒濁テ讀、ハ

非ナリ、丞、字是ト同音ナリ

倭音、

右蒸韻

疏 疏黃ナリ、廣韻ニカ求切劉留流ト同音、漢音リ又吳音ルナルメキヲ古來エト讀、或ハイト讀、皆非ナリ然レモ藥ノ名ニテ世俗ニ通行セル音ナル故ニ今改難

右尤韻

龕 廣韻ニ口含切堪戡ト同音、倭音カン清テ讀メキヲ古來濁テ讀習ハセルハ誤ニ

右覃韻

上聲 髓 廣韻ニ息委切倭音ス、清テヨムメキヲ古來濁テ讀習ハセリ、隨字ニ類セル故ニ誤レルナリ

跬 廣韻ニ丘陴切音頰倭音キ、字紙韻ニ入ル、俗儒ケイト讀ムハ、字體ニ圭、字アルヲ見テ誤レルニ

時 廣韻ニ諸市切音止倭音シ、清テ讀メシ、然レモ廣韻ニ又時止切トアリ、濁テ讀ムモ可ナリ

右紙韻

甫 廣韻ニ方矩切、芥俯府ト同音、倭音フナルメキヲ古來ホト讀習ハセリ、今改難ニ、肺蓋黼ノ三字モ是ト同音ニ

輔 廣韻ニ扶雨切、父腐釜ト同音、倭音フナルメキヲ古來ホト讀習セリ、今改難ニ、唯我朝八省ノ太輔ハ古來フト讀習セリ、父母ノ父是ト同音ニ、尼父尚父、上甫、字音ニ

虜 廣韻ニ郎古切、魯鹵ト同音、字麌韻ニ入ル、倭音口ニ、俗

儒リヨト讀ハ誤之麁韻ニリヨノ音ナシ鏘ノ字モ是
同音ナリ

五 廣韻ニ疑古切音午字麁韻ニ入ル倭音工俗儒キヨト
讀ム者アリ非ナリ麁韻ニギヨノ音ナシ

許 廣韻ニ呼古切音虎字麁韻ニ入ル倭音工俗儒キヨト
讀ハ字體ニ因テ誤之麁韻ニキヨ音ナシ水許傳ハ書ノ
名コト讀ム

普 廣韻ニ滂古切音浦漢音ホ吳音フナリ今多クハ吳音
ヲ用ス溥字是同音之毛詩ノ溥天之下中庸ノ溥博
淵泉皆フト讀習ハセリ

譜 廣韻ハ博古切補圍ト同音倭音ホナルメキヤ古来フト
讀習ハセリ上ノ普溥ノ二字ノ類ナリ

右麁韻

醜 廣韻ニ他禮切體淨緹ト同音漢音テイ吳音タイ醜醜
ノ醜ヲ釋氏ノ徒ダイト濁テヨムハ誤之

右齋韻

賄 廣韻ニ呼罪切音悔倭音クワイ賄賄今人クワイ口ト云
非之悔字准スレバ吳音ケナルメシ今クワイ云吳音非ス
豈第豈是同ジ又凱ニ作廣韻ニ苦亥切音開上聲倭音
カイ清讀メシ俗儒濁讀誤之塏鏜二字是同音ナリ

右賄韻

軫 廣韻ニ章忍切倭音シン俗儒チント讀ハ誤之疹髻紵

續診衫類ノ七字是下同音ナリ

敏 廣韻ニ眉殞切、愍閔賢ト同音、倭音ヒニ濁テ讀マシ、俗

儒清テ讀ハ非ナリ

右軫韻

吻 廣韻ニ武粉切、音文ノ上聲、倭音ブン、濁テ讀マシ、俗儒

清テ讀ハ非ナリ、別枚ノ二字是下同音ナリ

右吻韻

縮 廣韻ニ烏板切、倭音クシ、漢ノ盧縮リ、今人クロント讀ハ

字體ニ因テ誤レルナリ

赧 廣韻ニ奴版切、倭音ダン、濁テ讀マシ、俗儒清テ讀ハ誤

也、周ニ赧王アリ

右潜韻

軟 ト同ジ、廣韻ニ而亮切、倭音ゼニ、醫書脉ヲ云ニ、軟字

ヲ用テ、倭音ナント讀習ハシ、佛書ニ柔軟ノ字アルヲ釋氏

徒ナント讀習ハセリ、皆非ニ、此字銑韻ニ入ナント音ナ

シ、今按ズルニ、煥字ニ糲煖ノ二音アリ、又此字ト通アリ、

是ヨリテ、誤テ軟字ヲ煖ノ音讀ナリ、然モ煥字、本亦弱ノ

義、怯ノ義、軟字ハ柔ノ義ニ、字義同ラズ、煥字モ軟字ニ

通ズレバ、柔ノ義トナル、軟ハ煥ニ通セズ

喘 廣韻ニ昌亮切、音舛、倭音セン、清テ讀マキヲ、古來濁テ

讀習ハセリ、今改ガタシ

右銑韻

采 采ト同、廣韻丁果切、倭音久、清テ讀ハ、濁テ讀ハ非之、
堆字是同音之、薩堆ヲ釋氏ノ徒、清テヨム

妥 廣韻ニ他果切、倭音夕、清テヨム、ハニ
右寄韻

仰 廣韻ニ魚兩切、倭音キヤウ、濁テヨム、ハニ
右養韻

杏 廣韻ニ何梗切、音荇、倭音カウ、常キヤウト讀ハ、吳音ナリ
騁 廣韻ニ丑郢切、逞程ト同音、倭音チイ、俗儒ヘイトヨム
者アリ、聘字ニ似タル故ニ誤レルナリ

紐 右梗韻
廣韻ニ女久切、倭音ヂウ、濁テ讀ハキキ、今人丑字ノ音

否 如久、清テヨムハ非之、鈕鈕ノ二字、是同音之、鈕字モ本
名ハ是ト同音之、手械ノ鈕ハ音丑ナリ

可否ノ否、倭語イナト云ハ、有韻ニ入ル、廣韻ニ方久切
音缶、倭音フナリ、臧否ノ否ハ、補美切、音鄙、否塞ノ否卦名、
否ハ、符鄙切、音地、皆紙韻ニ入ル、華音ハ清濁ノ異アリ、倭
音ハ皆ヒナリ、安否ヲ世俗ヒトヨムハ誤ナリ

牖 字有韻ニ入ル、廣韻ニ與久切、酉誘、齒樞、莠、莠、摛ト同音、
倭音イウ、俗儒ヨウトヨムハ誤之、字體片ニ從ヘ、戸ニ
從ヘ、甫ニ從フ、右傍庸字ニ似タル故ニ、音ヲ誤ル之
畝 廣韻ニ莫厚切、牡某、摛ト同音、倭音ボウ、又ハホ、濁テ讀
可ク、古來ホト清テ讀習ハセリ、今改ガタシ

斗 南斗北斗八星名之廣韻ニ當口切倭音トウナルメキ
ヲ古來ト、呼ブ南斗斗ヲ主ノ音ニ讀下俗儒ノ誤ニテ
謂レナキ下之既ニ斗ノ名マギル、故ニ南北ノ字ヲ
加タリ主ノ音ハ水ヲ斟ム器ノ名之周禮青官鬯人ニ見
タリ廣韻ニ料ニ作ル料ハ禮記ノ喪大記ニ見タリ

枸 廣韻ニ古厚切苟狗垢苟為ト同音倭音コウ枸杞ヲ常
クコト云ハ二字俱ニ吳音之又矩ノ音アリ鷹韻ニ入ル
枳枸ハ木名毛詩ニ見タリ此方ニハケンホトニト云者也
右有韻

去聲

甕 甕ト同送韻ニ入ル廣韻ニ烏貢切倭音ノウ俗儒ヨ

ウト讀ハ非之送韻ニハヨウノ音ナシ雍字是同音之
右送韻

筭 或ハ筭ノ作ル廣韻ニ除醉切遂穂ト同音倭音スノ筭
星ヲ古來ケイト讀ムハ誤之廣韻ニ又音歲倭音セノ
又内箇切倭音テイ

率 此字去聲ニ二音アリ俱ニ寘韻ニ入ル一ハ將帥帥ト通
用ス倭音スイ一ハ音類倭音ルノ字彙ニ總率也ト註
倭語オホム子ト云義之此時或類字ヲ用俗儒多是ヲ不知

帥 此字本入聲質韻ニ入ル倭音シユツ論語子帥以正トアル
是之又去聲寘韻ニ入ル廣韻ニ所類切倭音スノ將帥之
我朝官太宰帥アリ將帥帥ナルヲ古來ソツト呼誤之

右真韻

恕 廣韻ニ商署切音庶倭音シヨ、清テヨムハキヲ古來濁
テ讀習ハセルハ誤ニ然レモ今改カタシ

祭

綿ト訓スル時ハ息據切倭音シヨ、清テヨムハキヲ古
來濁テ讀習ハセリ又祭美ノ祭ハ抽據切倭音キヨ、曲
禮見タリ又尼據切音女倭音ゲヨ姓ナリ漢祭舜アリ

右御韻

戊 邊ヲ守テ戊ト云廣韻ニ傷遇切倭音シエ、清テヨムハ
シ濁テヨムハ誤ナリ

右遇韻

細 字霽韻ニ入ル廣韻ニ蕪計切音塔倭音セイナルハキヲ

古來サイト讀習ハセリ濟歲等ノ字以テ例ニ是吳音
ナルハ今改正難塔ヲ今セイトヨム俗儒或ハサイト
讀ハ音註ニ音細トアルヲ見テ細字漢音セイナルヲ
シラズハ吳音ニ從ヘルニ或ハ字體因テヨ音讀更非ニ
祭 此字モ本霽韻ニ入ル祭祀祭ニ廣韻ニ子例切倭音セ
イ又卦韻ニ入ル國名之春秋祭伯アリ又姓ニ後漢祭

遵アリ俱側界切倭音サイニ然レモ祭祀祭ヲモ古來サイト
讀習ハシテセイ音アルヲ人シラズサイ是亦吳音ナル
メシ際字祭祀ノ祭ト同音ナルヲ古來サイト讀今皆改難シ
滯 廣韻ニ直例切音蕪倭音テイ常タイト讀ハ是亦吳音ニ

右霽韻

眇 顧眇、轉眇、眇昧、美目眇兮、眇本下盼ニ作、字諫韻ニ入ル、廣韻ニ匹莧切、倭音ハニ俗儒ノ下讀ハ、誤テ眇字混同セ
 ルニ、眇ハ廣韻ニ莫旬切、音麴、斜視ト註セリ、ヒヅメテ
 視ニ、又説文ニ目偏合也アリ、一目閉テ一目視ニ、盼字音
 義俱異ニ、盼ヲ俗誤、眇ニ作、眇本別字ニ、廣韻ニ五計切、
 下戾切、華音、二切別ニ、倭音皆ゲイ、恨視ト註セリ、孟子眇
 眇然、是ナリモ詩、美目眇兮、眇、今人ハ下讀、顧眇、眇ハ
 メント讀ム、眇眇眇ノ三字混同ノ字、誤リ、亦音誤リ、學者
 辨知メ、眇字、字彙ニハ莫典切、音勉アリ、上聲ニ

右諫韻

乍 字禡韻ニ入ル、廣韻ニ鋤駕切、倭音ザ濁テ讀メキヲ、今

清テ讀、害ナシ、醫書ニ乍寒乍熱ノ語アリ、學者サレ讀、誤ニ

右禡韻

向 本許亮切、香ノ去聲、漢音キヤウ、吳音カウ、向背ノ向ニ、又武
 亮切、音餉、倭音シヤウ、地名ニ、姓ニ、左傳、晉羊舌肸、字
 叔向、漢、劉子政、名向ハ、皆向背ノ向ニ、俗儒シヤウト讀、誤ニ

右漾韻

畜 牛馬羊犬豕鷄ヲ六畜ト云、字本、畧ニ作、宥韻ニ入ル、廣
 韻ニ許宥切、倭音キウ、六畜ヲ世俗チウト讀ハ、非ナリ

宿 星宿宿、去聲、廣韻ニ息救切、秀繡同音、倭音シウ、又本音
 入聲、讀、可人、古來ニ音アリ、入聲、讀、誤ト云、メカラズ

幼 字宥韻ニ入ル、廣韻ニ伊謬切、倭音イウナルメキヲ、古

來工ウト讀習ハセルハ誤ニ、然レ凡今改カタシ

右宥韻

入聲

族 廣韻ニ昨木切、倭音ヅク濁音ニ、俗儒シヨクト讀ムハ非也、倭音、屋韻ニシヨクノ音ナシ

畜 廣韻ニ許竹切、倭音キク、養ト訓ス、又丑六切、倭音チク、畜止儲畜ノ畜ニ、周易ノ大畜小畜是ニ又蓄ニ作ル畜産畜生ハ、養ノ義ナルヲ、釋氏徒チクト讀ハ誤ナリ

右屋韻

沃 廣韻ニ烏酷切、倭音ヲク、曲沃ハ地名ニ、俗儒ヨクト讀ハ非ニ、字彙ニ音屋トアリ、塗字是ト同音ナリ

右沃韻

帥 廣韻ニ所律切、倭音シユツ、俗儒ソツト讀ハ非ニ、字彙韻ニ入ル、ソツノ音ナシ、太宰帥ヲ、古來ソツト呼フ誤ニ、已ニ前ニ見タリ、率蟀ノ二字、是ト同音ナリ

卒 廣韻ニ子幸切、倭音シユツ、終ト訓ス、大夫死ヲ卒ト云、俗儒ソツト讀ハ誤ニ、字彙韻ニ入ル、ソツノ音ナシ、士卒、卒、倉卒、卒ハ俱ニ月韻ニ入ル、士卒ハ臧汝切、清音ニ、倉卒ハ倉汝切、次清音ニ、華音ハ二音別ニ、倭音ハ別ナシ、皆ソツナリ

右質韻

被 廣韻ニ敷旬切、音拂、倭音フツ、災ヲ除ク祭ナリ、倭語ニハラヒト云、俗儒バツト讀ハ誤ニ、字示ニ從フ、未ニ從

倭讀要領卷止

フルハ非ニ、殺ハ別字ニ、字彙ニ蒲發切音鉞、禾傷也ト
アリ、被ハ一ニ、弗ニ作ル、毛詩ニ以弗無子トアリ

右勿韻

虐 字藥韻ニ入ル、廣韻ニ魚約切、倭音ギヤク、俗儒ケキト

讀ハ非ニ、藥韻ニゲキノ音ナシ、瘡字是ト同音ナリ

諛 廣韻ニ虛約切、倭音キヤク、清テ讀メ、俗儒濁テ讀ハ

誤テ、虐字ノ音混同セルニ、虐、牙音諛、喉音ニ華音大異ニ

魄 落魄ノ魄、藥韻ニ入ル、廣韻ニ他各切、託橐拊ト同音、倭

音タク、俗儒ハクト讀ハ、非ノ魂魄ノ魄ト、音義俱ニ異ニ

或ハ七ニ從ヘテ、魄ニ作ル、魂魄ノ魄ハ陌韻ニ入ル

右藥韻

適 字本陌韻ニ入ル、廣韻ニ施隻切、音釋漢音セキ、吳音ニ

ヤク、倭語ニユク、カナフ、マサニ、タマクト云、皆此音也、

適來、閉適、適悅、俗語ノ適纔、皆是ニ、又錫韻ニ入ル、都歷、

切音的、漢音テキ、吳音ヤク、論語、無適莫、左傳、吾誰

適、從、毛詩、誰適為容、皆此音ニ、又嫡字、通用ス、此外、皆釋

音ニ、俗儒是ヲシラス、一槩ニ的、音讀ハ誤ニ、程伊川敬

字ヲ解スルニ、主一無適語アリ、俗儒テキト讀、唐詩人ニ

高適、李適之アリ、唐詩、讀者テキ、讀、皆誤ニ、此等適字、並ニセ

キトヨムヌシ

右陌韻

揖 字葉韻ニ入ル、廣韻ニ即葉切、接臆ト同音、倭音セフ、俗

儒シフト讀ハ非之葉韻ニシテ音ナシ字又攝ニ作ル
摺疊摺葉韻ニ入ル廣韻ニ之涉ク切訾懾惛ト同音倭音
セフ俗儒シフトヨムハ非ナリ

右葉韻

之 字冷韻ニ入ル廣韻ニ房法切倭音ハフ世俗ホクトヨ
ムハ非之常ニ負之トイフ是ナリ

右冷韻

右古來倭音ノ誤必正スマキ者大略此類ニ自餘ハ必改正
セズ古來習ノ如ヨムマシ世ノ俗儒多クハ字音ヲ明ノス
訛謬相承テ其非ヲ知ラズ自誤ルノミナラス往々ニ人ヲ誤
ラシム是真ニ畏マシ又倭讀ノ法ニ其字正音ニアラザレバ

他字ニマギル、フアルヲバ音ヲ別ヨムヲ故實トスルコトアリ、
初学是ヲ知マシ今數字ヲ左ニ列ス

空、廣韻ニ苦紅切廣音コウ吳音クウ、六官司空漢音ヨノ
ハ司寇倭音トマギル、故ニ此字ヲハ吳音ニ讀ナリ

嘗 廣韻ニ市羊切音常倭音シヤウ本濁ルマキ音ナレバ常ニ
清テ讀ム唯四時ノ祭ヲ言フニ、禘嘗烝ト云嘗ヲ清テ
ヨメバ、烝字倭音マギル、故ニ必獨テヨムナリ

驚 廣韻ニ舉卿切京荆ト同音漢音ケイ吳音キヤウ、醫書
讀ニ、驚風驚悸類凡驚字皆吳音ヲ用テ漢音ヲ用ヒス
但七情ヲ言フニ、喜怒憂思悲驚恐トイフ、驚字必漢音
讀マシ、驚吳音恐漢音トマギル、故ナリ

情

廣韻ニ疾盈切音晴漢音セ、吳音ジヤリ、儒書ニハ漢音シ用、ハケレ、性情ニ字並出ル、多ケレバ、漢音讀テハ性情トマギル、故ニ此字ヲハ吳音ニ讀ナリ

鹹

廣韻ニ胡讒切咸函ト同音倭音カ、常ニハ清テ讀習ハセレ、疋醫書ニ五味ヲ列タル処アルヲ、清テ讀ノハ甘トマギル、故ニ此字ヲ必濁テ讀之

衛

廣韻ニ于歲切漢音エ、吳音エ、醫書ニハ吳漢ノ二音ヲ兼用、ハケレ、此字ハ多ク漢音ニヨム、唯榮衛ノ衛ヲハ必吳音ニ讀ム、榮字ト倭音マギル、故ナリ

艮

卦ノ名ナリ、廣韻ニ古恨切倭音コ、本清テ讀メキラ、八卦中ニテ坤字倭音マギル、故ニ此字ヲハ濁テ讀之

正音ニハアラズ

中華ニテ古文異體字或ハ法帖ナドノ草字、朦朧トノ讀難ニ、眞字ヲ以テ每字ノ傍ニ附註スルヲ釋文云、又佛書梵文ニ、漢字ヲ以テ其音ヲ附註スルヲ對譯云、一ニハ對註云、吾國漢字讀難ニ、因字ヲ以テ傍ニ其音ヲ附書スルハ、梵文對譯類也、此事胡亂ニス、ハカラズ、且平聲ノ韻ヲ以テ言ニ、支微魚虞齊佳灰眞文元寒刪先歌麻侵覃鹽咸ノ十九韻ハ明白ニノマキル、トナシ、東冬江蕭肴豪陽庚青蒸尤ノ十一韻ハ、倭音ニ皆ウノ響アリ、テ口ニ呼所混同、別ナキ故ニ、鹵莽學者、徃々ニ國字對譯ヲ誤ル、此事大義ニ關ルニ非サレ、吾國學者、法故ニテ自然條理紊亂ス、ハカラサル者アリ、何ノ忽

諸スルヲ得ニヤ故ニ其要領ヲ此ニ録童蒙ニ示ス

東韻 東字倭音トウノ故ニ此韻ニ屬スル字ハ必ヲコソトノ

ホモロ下ニウ聲ヲ附ル之例セハ翁公葱通豐蒙籠ノ如キ

是也又イキシチリ下ニウノ聲ヲ附ル字アリ熊弓終中

隆ノ如キ是ナリ餘ハ推テ知メシ

冬鍾韻 冬字倭音トウ東字ト同キ故ニ此韻ニ屬スル字ハ

東韻ト異ナルトナシ例セハ攻宗炆農隆ノ如キ是之別ニ鍾韻ニ

屬スル字アリ鍾字倭音シヨウノ故ニ此韻ニ屬スル字

必ヨキヨシヨクヨリヨ下ニウ聲ヲ附ル之例セハ容恭

衝重龍ノ如キ是ナリ餘ハ推テ知メシ

江韻 江字倭音カウノ故ニ此韻ニ屬スル字ハ必アカサタナ

ハマラノ下ニウ聲ヲ附ル之例 映腔脰椿聾邦厖瀧ノ如キ是之

蕭宵韻 蕭宵二字倭音シヤウノ故ニ此韻ニ屬スル字ハ必ヤ

キヤシヤチヤニヤヒヤミヤリヤ下ニウ聲ヲ附ルナリ

例セハ妖驕燒朝饒標猫聊ノ如キ是ナリ

肴韻 肴字倭音カウノ故ニ此韻ニ屬スル字ハ對譯江韻

如例セハ頰交梢啁饒包茅頰類ノ但此韻字ニハ蕭韻其

音相通ズル者アリ多クハ吳音ノ其對譯蕭韻ノ如シ

豪韻 有韻ト同ジ例セハ麀高騷刀獠褒毛勞ノ如キ是之但此

韻ニハ蕭韻ト相通スル音ナシ

陽唐韻 陽字倭音ヤウノ故ニ此韻ニ屬スル字ハ對譯蕭

韻ノ如例セハ羊薑商張孃良類ノ唐字倭音タウノ故ニ

此韻ニ屬スル字ハ、對譯江韻ノ如シ、例セバ、鶯剛桑當囊滂
茫郎王類之、參考スル、又光字、如キハ、クワ、下、ウ、聲ヲ附ル之

庚耕清韻 庚耕二字、倭音カウ之、故ニ此韻ニ屬スル字ハ、

對譯江韻ノ如シ、例セバ、嬰阮爭脛停彭盲橫類之、又觥字、如キハ、

クワノ下ニウノ聲ヲ附ル之、此クワウト云音ハ、陽庚二韻ニ

限テアリ、清字漢音ハ明白之、吳音シヤウナル故ニ、此韻ニ屬

スル字、吳音陽韻ニ似タリ、故ニ對譯モ陽韻ノ如シ、例セバ

嬰京精評明ノ如キ是ナリ
青韻 漢音ハ明白之、吳音シヤウナル故ニ、此韻ニ屬スル字

吳音、庚韻字ノ吳音、同ニ對譯モ庚韻字ノ吳音、如シ、例セバ

經星丁寧端冥靈ノ如キ是ナリ

各韻母字母ヲ視、其音考ヘバ、對譯於差誤ナカシ、慎テ草草
スルヲナカレ

○佛家ニ陀羅尼アリ、皆梵語之、本、梵字ニテ書タルヲ、中華

人、梵字ヲ讀マタハサル故ニ佛書ヲ翻譯スル者、漢字ノ

梵音ニ合ヘル者ヲ、其傍ニ附書メ、漢字音ヲ以テ、梵字ヲ讀

シケル、是ヲ對譯ト云、或ハ對註ト云、既ニ對譯シツレハ、其

後ハ梵字存セザレバ、對譯ノ漢字ヲ以テ、梵音ヲ傳テ、陀羅

尼ヲ誦スル之、梵語ヲ傳フルノ如シ、是ナルニアラス、四

方萬國、語ヲ傳フルヲ、皆如是、鶴林玉露ニ日本語ヲ記、筆ヲ

分直トイヒ、硯ヲ松蘇利ト云、云ル類ノ如キ皆此例之、然レハ
陀羅尼ヲ讀ニハ、對譯字ヲ必華音ニ讀メキ之、華音ニモ、南

北土音不同ナルヲアレバ、若精セントナラハ、譯者郷里ヲ
 尋テ其郷音ニ從フメシサモアラハ梵音ヲ失ハザルニ近
 カラズ、然ラズハ、梵音ヲ去テ遠カルメシ、今此方ニテ、釋氏
 徒、陀羅尼ヲ誦スルハ倭音ヲ以テヨム、囊莫ヲナウマクト
 讀ミ摩訶ヲマカトヨミ、般若波羅密多ヲ、ハニニヤハラミ
 ツタトヨムガ如キ、是皆倭音ニ、是何梵音ナラニヤ、分直松
 蘇利ヲ倭音ニヨメバ、倭語、フニデス、リニ合ハサルヲ以テ、
 推テ知メシ、陀羅尼ハ天竺歌詩ニテ、諷詠スベキ者ナレバ
 其用聲音ニ在リ、聲音道微妙ニ、佛徳ヲ讚歎ニ、鬼神ヲ感格
 セシメ、災ヲ禳、福ヲ祈、心ヲ澄シ、徳ヲ養フ、皆聲音ノ力ナ
 ル故ニ、彼家ニコレヲ聲明トイフ、尤傳語ヲ取テ名ヅケタ

ルニ、然ルニ梵語、本音ヲ失テハ、陀羅尼、功少カルメシ、況ヤ
 今、僧ノ陀羅尼ヲ誦スルハ、諷詠意ナクシテ、水中ノ蛙ノ鳴
 如久耳ニ、聒キノミナレバ、梵音ヲ去テ益、遠カルメシ、中華
 僧ノ經ヲ讀ミ、陀羅尼ヲ誦スルハ、諷詠意アリテ、聲音響亮
 ナル故ニ、聽ク者感慨ヲ起サストイフ、ナシ

○倭讀ノ法ニ、本濁、新濁、連聲ト云フアリ、是佛家ノ名目ニ、大
 儒家ニモ、此事ナキニアラス、本濁トハ、本來濁レル音ヲ云、
 新濁トハ、本、清テ讀メキ字ナレ、凡、兩三字連屬セルヲ、音便
 隨テ下ノ字ヲ濁テ讀ムアルヲイフ、南山東方トイフガ如キ、
 山方皆濁テヨム、是新濁ナリ、連聲トハ、喉音影喻ノ二母ニ
 屬スル字ヲ、連屬音ニテ、ナニヌ子ノ或ハタチツテトノ

音ニ呼ブヲ云、天王、王ヲナウト呼ビ越王、王ヲタウト呼ビ、
 南音ヲニント呼ビ、八音ヲクニト呼ガ如キ是之、又遠方葛
 伯トイフカ如キ、方伯、二字、唇ヲ合セテ呼ブ華音、幫滂、二
 母ヲ呼ガ如ク、此方ニハ是ヲ半濁ト云、国字、肩カニ一チ小圈ヲ加テ
 號トス、是モ連聲之、又釋氏書ニハ、四聲ヲ點發スルチヒキニ、倭音
 濁テヨム字ニハ、二小圈ヲ點ス、本濁ハ横ニ雙タラベ、新濁ハ直タテ
 累又、儒家ニハ是ヲ用ヒズ、凡此等法、皆吾国、故實ナレバ、學
 者ハ兼テコレヲ知メシ、中華ニハ新濁連聲等ノ事ナシ、清
 濁モ倭音ト大ニ異ナリ、

倭讀要領卷之上 終

